

暫定版

**（仮称）次期桐生市総合計画
基本計画
（案）**

施策の体系

将来都市像
※検討中

施策の方向性	分野別施策	
1. 産業経済の振興 (産業、観光)	1. 農林業の活性化	(農林業)
	2. 商業の活性化とにぎわいづくり	(商業)
	3. 企業立地の推進	(工業)
	4. 雇用・労働環境の充実	(雇用・労働環境)
	5. 地域産業の活性化	(地域産業)
	6. 観光の振興	(観光)
2. 健康・福祉の増進 (健康、医療、福祉)	1. 子ども・子育て支援の充実	(子ども・子育て支援)
	2. 介護・高齢者福祉の向上	(介護・高齢者福祉)
	3. 障がい者福祉の向上	(障がい者福祉)
	4. 地域福祉の向上	(地域福祉)
	5. 生活支援・社会保障の充実	(生活支援・社会保障)
	6. 地域医療の充実	(地域医療)
	7. 健康づくりの推進	(健康づくり)
3. 生活環境の整備 (環境、安全・安心)	1. 環境保全対策の推進	(生活環境保全)
	2. 循環型社会の推進	(循環型社会)
	3. 消防・救急体制の強化	(消防・救急)
	4. 防災・減災対策の推進	(防災・減災)
	5. 防犯・交通安全対策の推進	(防犯・交通安全)
	6. 消費者保護対策の充実	(消費者保護)
4. 教育・文化の向上 (教育、生涯学習、 芸術・文化、スポーツ)	1. 学校教育の充実	(学校教育)
	2. 青少年健全育成の推進	(青少年育成)
	3. 教育研究の推進	(教育研究)
	4. 生涯学習の推進	(生涯学習)
	5. 芸術・文化の振興	(芸術・文化)
	6. スポーツの振興	(スポーツ)
5. 都市基盤の整備 (都市基盤)	1. 道路交通網の整備	(道路・橋りょう)
	2. 公共交通体系の充実	(公共交通)
	3. 土地利用と景観の形成	(土地利用・景観)
	4. 歴史まちづくりの推進	(歴史まちづくり)
	5. 住宅対策の推進	(住環境・移住・定住)
	6. 水道水の安定供給	(上水道)
	7. 汚水・雨水の適正処理	(下水道・雨水)
	8. 水と緑の保全	(自然環境保全・河川)
	9. 公園・緑地の整備	(公園・緑地)
6. 計画推進のために (協働、行政運営)	1. 市民協働の推進	(市民協働)
	2. 広報・広聴の充実	(広報・公聴)
	3. 男女共同参画の推進	(男女共同参画)
	4. 国際交流の推進	(国際交流)
	5. シティブランディングの推進	(シティブランディング)
	6. 効率的で健全な行財政運営	(行財政運営)
	7. 地域連携の推進	(地域連携)

1-1 農林業の活性化



主担当課名	農業振興課、林業振興課	関係課名	新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課、農業委員会事務局
-------	-------------	------	-------------------------------

基本方針

農林業の活性化のため、桐生市の豊かな自然環境を生かした効率的・安定的な農林業振興を図るとともに、地球温暖化防止や水源のかん養等多くの公益的機能を有する農村・森林資源の保全活動を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「農林業の活性化」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
認定農業者数	経営体	117	125	125	125	125	
林業従事者数	人	65	70	72	75	77	

現況と課題

- ◆農業後継者をはじめ、新規就農者を支援するとともに、認定農業者の育成と法人化を推進し、効率的で安定的な農業経営を行う担い手の育成・確保を図っていく必要があります。
- ◆林業従事者や新規就業者の確保など雇用安定に向けた支援を行い、国、県をはじめ森林組合を中心とする林業関係団体との協同により、意欲ある林業経営に資するための事業を継続する必要があります。
- ◆農地・山林の維持・保全のため、有害鳥獣対策や耕作放棄地の解消に取り組むとともに、農業用水施設等の維持管理を適切に行っていく必要があります。

施策の方向

1. 農業の活性化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
農業法人数	法人	47	48	49	50	50
担い手への農地集積率	%	18.2	19.0	19.5	20.0	20.5

施 策	
1. 農業の担い手の育成・確保	重点(戦略)
2. 魅力的な農産物の生産振興と販売力の強化	重点(戦略)
3. 農産物の安全確保と地産地消の推進	
4. 環境と調和した農業の推進	
5. 農業施設整備・鳥獣被害防止対策の推進	

2. 林業の活性化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
桐生材の市場出荷量	m ³	30,800	43,120	49,280	55,440	61,600
森林経営計画上の計画面積	ha	5,996.66	8,395.32	9,594.66	10,793.99	11,993.32

施 策	
1. 林業後継者の育成	重点(戦略)
2. 林業振興と林業生産基盤の整備	重点(戦略)
3. 林業関係団体との協同の推進	
4. 森林保全・有害鳥獣対策の推進	

主な関連計画

◇農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2016～2021年度）

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

1-2 商業の活性化とにぎわいづくり



主担当課名	産業政策課、農業振興課	関係課名	
-------	-------------	------	--

基本方針

市民ニーズの高い中心市街地等のにぎわいづくり創出のため、古くから市街地の経済活動を担うまちの顔である商店街をはじめとした商業の活性化を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「商業の活性化とにぎわいづくり」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

◆中心市街地の空洞化が進む中で、商業の活性化に向けて、経営者（後継者）の育成に加え、本市に多く存在する近代化遺産を生かした産業観光や伝統産業・地場産業との連携、地域資源の活用など、総合的・一体的に取り組むことが課題となっています。

施策の方向

1. 商業環境の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
空き店舗対策制度を活用した開業店舗数	件	93	100	110	120	130

施 策

1. 魅力ある商店づくり **重点(戦略)**
2. 生鮮食料品の流通拠点の確保

2. 市街地のにぎわいづくり

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年

施 策

1. 中心市街地活性化の推進 **重点(戦略)**
2. 活力ある商店街の再構築

主な関連計画

- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）
- ◇群馬県卸売市場整備計画（2017～2020年度）

1-3 企業立地の推進



主担当課名	産業政策課	関係課名	都市計画課、新里地域振興整備課
-------	-------	------	-----------------

基本方針

雇用の確保と経済環境の変化に対応できる産業構造・産業基盤の強化を図るため、多様な企業誘致と市内企業の流出防止を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年	
「企業立地の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
工業団地での雇用者数	人	0	225	250	275	300	

現況と課題

- ◆本市には、事業拡張のために必要な工場用地が少なく、既存の工場の周辺に住宅地が開発されるなどしたことから、操業の制約となっています。
- ◆全国で企業誘致競争が激化している中、工業団地の整備にあたっては、企業ニーズに適合した質の高い用地を選定することが重要であり、企業誘致の推進にあっては、地域への波及効果が期待できる優良企業を誘致する必要があります。

施策の方向

1. 企業立地の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
工業団地に立地した企業数	社	-	6	7	8	9

施 策	
1. 計画的な工業団地の整備	重点(戦略)
2. 企業誘致活動の推進	重点(戦略)

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

1-4 雇用・労働環境の充実



主担当課名	産業政策課	関係課名	
-------	-------	------	--

基本方針

若者、女性、高齢者、障がい者など働く意欲のある全ての人が、能力を発揮し多様な働き方が選択できるよう働き方改革を推進するとともに、関係機関や事業所等と連携し、安定した雇用と労働環境の充実を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「雇用・労働環境の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑
有効求人倍率	倍	1.16	1.20	1.20	1.20	1.20

現況と課題

- ◆新規学卒者が流出し、市内企業への就業や定着が進まない状況にあります。
- ◆事業所等の求める人材と求職者の希望のミスマッチにより人手不足感が顕在化しています。
- ◆性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、希望に応じた多様な働き方が選択できる環境が求められています。

施策の方向

1. 雇用の確保と安定化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
合同企業説明会参加者数	人/年	36	40	45	50	55
労働セミナー参加者数	人/年	80	85	85	85	85

施 策

1. 雇用の確保と安定化

重点(戦略)

2. 労働環境の向上

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
くるみん・えるぼし市内認定企業数	事業所数	6	7	8	9	10

施 策

1. 労働環境の向上

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

1-5 地域産業の活性化



主担当課名	産業政策課	関係課名	新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課
-------	-------	------	----------------------

基本方針

中小企業等の経営基盤の強化に向け、「ものづくりのまち桐生」が誇る優れた製品や技術を有する企業に対して必要な支援を行います。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「地域産業の活性化」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑
従業員1人当たり製造品出荷額	万円	国集計中	2,700	2,750	2,800	2,850

現況と課題

- ◆中小企業が抱える様々な経営課題に対し、適切な助言とサポートを行い、競争力の向上や経営安定化を図ることが求められています。
- ◆また、優れた技術やノウハウを有しながら、特定の企業の受注に依存した体制や、経営者の高齢化などの課題を抱えていることから、経営基盤強化と競争力向上のため、新製品・新技術開発や多様な販路の開拓を支援するとともに、創業と事業承継を促進し、産業集積の維持・発展を図る必要があります。

施策の方向

1. 中小企業の経営基盤強化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
事業所数	事業所	調査中	370	370	370	370
展示会等出展に伴う商談成約件数	件	調査中	140	140	140	140
創業者創出数	人	21	40	40	40	40

施 策	
1. 市内企業の成長支援	重点(戦略)
2. 創業・事業承継の促進	重点(戦略)
3. 公的融資の利便性の向上	
4. 中小企業の経営合理化の促進	

2. 伝統産業の保護・育成

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
TPS 入場者数	人	927	950	1,000	1,050	1,100
織物記念館織物資料展示室来館者数	人	11,595	11,700	11,800	11,900	12,000

施 策	
1. 桐生ブランドの発信	
2. 商品開発・販路開拓の支援	重点(戦略)

主な関連計画

1-6 観光の振興



主担当課名	観光交流課	関係課名	新里地域振興整備課、黒保根市民生活課、黒保根地域振興整備課
-------	-------	------	-------------------------------

基本方針

将来にわたり桐生に住んでみたいと思う新たな市民を生み出すとともに、交流人口や関係人口の増加による市内経済の活性化につなげるため、本市の自然、文化、歴史、産業等の多様な観光資源を活用した観光施策を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「観光の振興」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
観光消費額	千円	4,849,234 (2017年)	4,994,711	5,094,605	5,196,497	5,300,426	
観光入込客数	人/年	4,078,400 (2017年)	4,282,320	4,367,966	4,367,966	4,367,966	

現況と課題

- ◆産業都市として発展してきた本市においては、観光客の視点に立った施設や土産品の整備が遅れていることから、観光客を迎え入れるための環境整備や接客サービスの向上と啓発を図ることが求められています。
- ◆本市の魅力を積極的に発信し観光産業として確立するために、行政主体の観光まちづくり体制から民間主体へ移行させることが必要です。また、ホームページや観光案内を充実するとともに、SNSによる情報拡散、情報発信機能を強化するために、情報収集機能を高める必要があります。
- ◆まつりなどのイベントを観光資源として充実し、観光客誘致を推進する必要があります。

施策の方向

1. 観光客誘致の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市民主体のイベントへの共催、後援数	件/年	10	20	25	30	30
観光ガイドの利用者数	人	2,961	3,100	3,200	3,300	3,400

施 策

1. 観光客誘致活動の推進 **重点(戦略)**
2. まつりなどのイベントの充実

2. 観光拠点施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
桐生観光協会ホームページへのアクセス件数	件/年	115,960	121,000	127,000	133,000	139,000

施 策

1. 観光拠点機能の充実 **重点(戦略)**
2. 観光拠点施設の整備

主な関連計画

- ◇桐生市観光基本計画（2011～2020年度）
- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

2-1 子ども・子育て支援の充実



主担当課名	子育て支援課、健康づくり課	関係課名	福祉課、医療保健課、生涯学習課、学校教育課、青少年課、市民生活課、建築住宅課、土木課、安全安心課
-------	---------------	------	--

基本方針

少子化の流れに歯止めをかけるとともに、家庭環境等に関わらず全ての子どもが健やかに成長できるよう、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実を図り、総合的な子育て支援を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「子ども・子育て支援の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
合計特殊出生率	-	1.13 (2017年)	1.43	1.45	1.47	1.48	
育児が楽しいと思える母親の割合 (1歳児を持つ母親)	%	90.0	90.2	90.4	90.6	90.8	

現況と課題

- ◆子育てに関する経済的負担の増加や子育てに対する不安などを理由として少子化が進んでおり、この流れに歯止めをかけるための施策の推進が求められています。
- ◆働く女性や夫婦共働き世帯の増加などによる保育需要の増加や多様化に対応するため、子育てサービスや子育て環境の充実が求められています。
- ◆核家族化の進展や女性の就業率、離婚率の上昇などの諸条件により子どもを産み育てる環境が変化し、親と子の関係の変化から虐待などの様々な問題が発生しており、包括的かつ専門的な相談支援体制の整備が求められています。
- ◆妊産婦の健康の保持増進と子の健やかな成長が確保されるように乳幼児健診、相談、教室、訪問等の支援体制の充実が必要とされています。

施策の方向

1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
(仮)産後1か月頃のE P D S※ 9点以上の褥婦の割合	%	3.6	3.5	3.4	3.3	3.2

※E P D S：エジンバラ産後うつ病質問票のことで、うつなのか不安なのかを評価するもの

施 策	
1. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援	重点(戦略)
2. 健やかな成長の支援	

2. 子育て支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
待機児童数	人	0	0	0	0	0

施 策	
1. 子育て支援サービスの充実	重点(戦略)
2. 仕事と家庭との両立の推進	
3. 支援を必要とする子どもや家庭に対する支援の充実	

3. 子育て環境の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
赤ちゃんの駅常設設置数	箇所	77	78	80	82	84

施 策	
1. 子育て支援体制の強化	
2. 安全・安心な子育て環境の整備	

主な関連計画

- ◇桐生市子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援行動計画）（2020～2024年度）
- ◇元気おりなす桐生21（第2次）（2013～2022年度）
- ◇桐生市歯科口腔保健推進計画（2017～2022年度）

2-2 介護・高齢者福祉の向上



主担当課名	長寿支援課	関係課名	福祉課、健康づくり課、医療保険課、新里市民生活課、黒保根市民生活課
-------	-------	------	-----------------------------------

基本方針

高齢者の誰もが住みなれた地域で、自分らしく、いきいきと、安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し、高齢者福祉の向上を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「介護・高齢者福祉の向上」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	

現況と課題

- ◆本市の高齢化率（全人口に占める65歳以上の人の割合）は、平成30年10月1日現在で群馬県内12市中最も高い34.9%となっています。今後も、特に後期高齢者（75歳以上の高齢者）が急増することが見込まれており、認知症高齢者や一人暮らし高齢者など、日常生活において何らかの支援や見守りを必要とする人を地域全体で支える体制づくりが求められています。
- ◆介護保険事業においては、給付と負担のバランスを維持しながら、必要な財源を確保し、引き続き安定した制度運営を実施していくことが課題となっています。

施策の方向

1. 高齢者福祉の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
認知症サポーター数	人	14,545	16,500	17,500	18,500	19,500

施 策

1. 地域包括ケアの推進 **重点(戦略)**
2. 尊厳ある暮らしに向けた支援
3. 支え合いのしくみづくり

2. 社会参加と生きがいの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
シルバー人材センター会員数	人	574	610	610	620	620
介護予防教室参加者数	人/年	463	480	490	500	500

施 策

1. 社会参加と生きがいの推進
2. 介護予防・重度化防止の推進 **重点(戦略)**

3. 介護保険制度の適正運用

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
介護保険料収納率	%	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5

施 策

1. 介護保険サービスの確保
2. 介護認定の円滑な運営
3. 保険財政の適正運用

主な関連計画

◇第7期桐生市高齢者保健福祉計画（2018～2020年度）

2-3 障がい者福祉の向上



主担当課名	福祉課	関係課名	長寿支援課、子育て支援課
-------	-----	------	--------------

基本方針

障がい者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指し、障がい者福祉の向上を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「障がい者福祉の向上」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆障がい者の自立を支援するため、在宅生活支援や就労支援の充実が求められています。
- ◆また、障がい者一人ひとりが適切なサービスを利用できるための相談支援体制の充実や障がい児支援の強化が求められています。
- ◆障がい者の積極的な社会参加の促進と障がい者に対する市民意識の啓発を行い、社会全体が障がい者とともに生きるという支え合いの体制づくりが必要となっています。

施策の方向

1. 障がい者支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
障がい福祉サービスの利用状況	件	1,348 (2017年)	1,438	1,468	1,488	1,500
地域生活支援事業の利用状況	件	3,933 (2017年)	3,029	8,229	3,479	8,679
障がい児通所支援事業の利用状況	件	146 (2017年)	159	162	164	166

施 策

1. 自立支援と在宅生活支援の充実
2. 就労支援の充実
3. 社会参加の促進

2. 暮らしやすい環境づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
地域で生活する障がい者の割合	%	96.94	96.99	97.02	97.05	97.08

施 策

1. 障がいについての理解の促進
2. 暮らしやすい環境整備の推進

主な関連計画

- ◇第5期障害福祉計画、第1期障害児福祉計画（2018～2020年度）
- ◇障害者計画（2012～2021年度）

2-4 地域福祉の向上



主担当課名	福祉課	関係課名	長寿支援課、子育て支援課、健康づくり課、新里市民生活課、黒保根市民生活課
-------	-----	------	--------------------------------------

基本方針

地域共生社会の実現や、「市民の誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことのできる地域づくり」を目指し、地域福祉の向上を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「地域福祉の向上」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	

現況と課題

- ◆地域共生社会の実現に向けて、「我が事・丸ごと」の地域づくりと、包括的な支援体制づくりを推進することが必要です。
- ◆市民一人ひとりが、地域福祉の担い手であることを認識し、住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりが必要です。

施策の方向

1. 地域福祉活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
ボランティア登録者（個人）	人/年	39	41	43	45	47
ボランティア登録者（団体）	件/年	92	94	96	98	100

施 策

1. 地域福祉活動の促進
2. 地域福祉の啓発
3. 婚活支援等による若者の支援

2. 地域福祉活動拠点の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
サロン活動団体数	団体	29	35	38	40	45

施 策

1. 地域福祉活動の体制強化
2. 地域福祉の拠点整備

主な関連計画

- ◇第3次桐生市地域福祉計画・地域福祉活動計画（2020～2024年度）
- ◇桐生市自殺対策計画（2019～2024年度）

2-5 生活支援・社会保障の充実



主担当課名	納税課、福祉課、医療保険課、健康づくり課	関係課名	子育て支援課
-------	----------------------	------	--------

基本方針

市民の生活基盤の安定化を図るため、福祉の自助・互助・共助・公助のうち、共助の要となる国民健康保険や公助の要となる生活保護等の社会保障制度についての適正な運用を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「生活支援・社会保障の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	

現況と課題

- ◆生活保護や生活困窮者自立支援に関する相談支援の場面では、相談者の様々な生活課題を的確に把握した上で、活用できる資産の有無や他法・他制度を活用し支援していく必要があり、窓口相談における幅広い知識が求められています。
- ◆国民健康保険の健全運営のため、国民健康保険税の適正賦課や収納率の向上に努めるとともに、保険給付と生活習慣病予防の両面から医療費の適正化に取り組むことが課題となっています。また、福祉医療費助成事業を適正に運営し安定化を図ることも課題となっています。

施策の方向

1. 生活支援の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
食品の提供に関する協定締結数	件	3	5	6	7	8

施 策

1. 生活保護受給世帯の自立支援
2. 生活困窮者等への支援
3. 子どもの居場所づくり

2. 国民健康保険の健全運営

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
賦課割合の平準化（応能割合・応益割合）	—	48:52	49:51	49:51	50:50	50:50
国民健康保険税（現年度）の収納率	%（年）	94.10	95.17	95.17	95.17	95.17
特定健康診査受診率	%	39.8 (2017年)	50.0	55.0	58.0	60.0
特定保健指導実施率	%	10.4 (2017年)	50.0	55.0	58.0	60.0

施 策

1. 国保財政の健全化
2. 保健事業の充実
3. 福祉医療費助成事業の適正運営

主な関連計画

- ◇桐生市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画（2018～2023年度）
- ◇桐生市国民健康保険第2期保健事業実施計画（2018～2023年度）

2-6 地域医療の充実



主担当課名	健康づくり課	関係課名	
-------	--------	------	--

基本方針

市民が適時適切に医療機関を受診できる地域医療の充実を図るため、桐生厚生総合病院をはじめとする地域医療の充実を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「地域医療の充実」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆近年、軽症患者が救急医療を安易に受診する「コンビニ受診」等により、勤務医師の負担が増大しています。
- ◆勤務医師の負担を軽減するため、症状に応じた医療機関の適正な受診が課題になっており、病院と診療所との連携や高度・専門的な治療に対応できる二次救急医療体制の充実などが求められています。
- ◆桐生厚生総合病院においては、「がん診療連携拠点病院」や「地域医療支援病院」など地域の中核病院として位置づけられていますが、常勤医不在の診療科目があるなど、診療体制の充実が求められています。

施策の方向

1. 地域医療の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
かかりつけの医者を持っている市民の割合	%	(2019年)	-	↑	-	↑

施 策	
1. 病院と診療所の連携強化	
2. 救急医療体制の充実	
3. 桐生厚生総合病院の機能の充実	重点

主な関連計画

2-7 健康づくりの推進



主担当課名	健康づくり課	関係課名	
-------	--------	------	--

基本方針

市民一人ひとりの健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の予防や食育の推進などを図り、市民の健康づくりを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年	
「健康づくりの推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
平均寿命の延伸（男性）	歳		↑	↑	↑	↑	
平均寿命の延伸（女性）	歳		↑	↑	↑	↑	

現況と課題

- ◆すべての市民が、生涯を通じて、心身ともに健康で質の高い生活を送るためには、「健康寿命の延伸」を実現することが重要です。
- ◆生活習慣に起因する主な疾病として、悪性新生物・心疾患・脳血管疾患があり、これらが2016年中の本市における死因全体の52.3パーセントを占めています。
- ◆生活習慣病の早期発見や早期治療による重症化予防のため、新わたらせ健康診査（特定健康診査など）及び各種がん検診、特定保健指導を実施していますが、受診率・実施率は低く、周知方法の工夫や受診しやすい健診体制の整備が必要です。
- ◆歯科口腔に関する健康格差をなくし、生涯にわたって健康で質の高い生活を確保できるよう、歯科口腔保健施策を計画的に推進していく必要があります。

施策の方向

1. 生活習慣病予防の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
特定健康診査受診率	%	39.8 (2017年)	50.0	55.0	58.0	60.0	
がん検診受診率 (子宮 20～69 歳、大腸・肺・乳 40～69 歳、胃 50～69 歳受診率の 平均)	%	11.1	30.0	40.0	50.0	50.0	

施 策	
1. 生活習慣病予防の推進	重点(戦略)
2. 生活習慣病の重症化予防	重点(戦略)

2. 生涯を通じた健康づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
運動習慣がある人の割合	%	51.6 (2017年)	—	55.8	—	56.8	

施 策	
1. 保健事業の充実	重点
2. 健康相談体制の充実	

主な関連計画

- ◇桐生市健康増進計画「元気織りなす桐生 21（第2次）」（桐生市食育推進計画含む）（2013～2022年度）
- ◇桐生市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画（2018～2023年度）
- ◇桐生市国民健康保険第2期保健事業実施計画（2018～2023年度）
- ◇桐生市歯科口腔保健推進計画（2017～2022年度）

3-1 環境保全対策の推進



主担当課名	環境課	関係課名	市民生活課、清掃センター、建築住宅課、空き家対策室、新里地域振興整備課、学校教育課
-------	-----	------	---

基本方針

恵み豊かな環境を守り、未来へ継承していくために、生活環境の保全を図るとともに、「環境先進都市」を目指した環境施策を積極的に推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「環境保全対策の推進」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆本市の生活環境について、事業所に起因する苦情は減少しつつありますが、野外焼却等の生活密着型の苦情が寄せられており、快適な生活環境を確保するための効果的な対策が求められています。
- ◆子どもたちの環境保全への意識を高めるため、環境教育の充実に取り組む必要があります。
- ◆「みんなで作る 持続可能で快適な 幸せ感じる環境都市」を目指し、桐生市環境先進都市将来構想に基づく施策を推進しています。
- ◆「エネルギーの地産地消」、「低炭素型交通の構築」を基本に、「地域の自然・産業・文化・人的資源」を最大限活用しながら、地域の実情に応じた取組を市民とともに考え、産学官民が一体となって環境と調和したまちづくりを目指す必要があります。

施策の方向

1. 生活環境対策の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
環境に関心を持っている市民の割合	%	69	現状より 向上	現状より 向上	現状より 向上	現状より 向上

施 策

1. 生活環境の保全
2. 環境教育の推進

2. 温暖化対策の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市の事務・事業から排出される温室効果ガス排出量	t-CO2 /年		40,124			

施 策

1. 温暖化対策の推進

重点(戦略)

主な関連計画

- ◇桐生市環境基本計画（2011年度～2020年度）
- ◇桐生市地球温暖化対策実行計画（2016年度～2020年度）
- ◇桐生市環境先進都市将来構想（2015年度～2044年度）

3-2 循環型社会の推進



主担当課名	環境課、清掃センター	関係課名	
-------	------------	------	--

基本方針

限りある資源を有効に活用していくため、生産から流通・消費・廃棄に至るまでの物質の効率的な利用やリユース・リサイクルを進め、市民・事業者に対する意識啓発を積極的に行い、ごみの発生抑制、資源の循環的な利用及び適正な処理を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「循環型社会の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
1人1日あたりのごみ排出量	g	1,019 (2017年)	1,070	1,047	1,024	997	

現況と課題

- ◆市民1人の1日あたりのごみ排出量は県内他市に比べ高い値で推移しており、環境への負担が少ない循環型社会の構築のために、ごみの発生や排出を抑制するとともに、不要となったものや排出されたごみもできる限りリユース・リサイクルしていく必要があります。
- ◆再生資源については集団回収を奨励していますが、回収量と登録団体数は減少傾向にあることから、実施体制の整備・強化が課題となっています。
- ◆人口減少、3Rの推進などによるごみ量の減少に伴い施設稼働率が低下しており、ごみ処理施設の安定的かつ効率的な運営が必要となっています。

施策の方向

1. ごみ減量の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
生活系ごみ1人1日あたり排出量	g	777 (2017年)	741	735	729	721
事業系ごみ1人1日あたり排出量	g	242 (2017年)	329	312	295	276

施 策

1. ごみの発生抑制
2. リユース・リサイクルの推進

2. ごみの適正処理

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
ごみ処理状況 (ごみ処理量/計画収集量)	%	100 (2017年)	100	100	100	100
最終処分量	t	4,941 (2017年)	4,222	4,024	3,825	3,627

施 策

1. ごみ処理施設の安定稼働
2. ポイ捨て・不法投棄等防止

主な関連計画

- ◇桐生市環境基本計画 2011～2020（2011年度～2020年度）
- ◇桐生市一般廃棄物処理基本計画（2016年度～2025年度）

3-3 消防・救急体制の強化



主担当課名	消防総務課、予防課、警防課	関係課名	
-------	---------------	------	--

基本方針

多様化する災害から市民の生命・財産を守るため、地域防災の要である消防団と消防体制の強化に取り組むとともに、救急体制の更なる充実を図り、市民の安全・安心の確保を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「消防・救急体制の強化」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑
出火率（人口1万人当たりの出火件数）	件/万人	3.15	3.13	3.11	3.10	3.08	

現況と課題

- ◆大規模化、激甚化傾向にある災害等に対応するため、消防体制の強化が求められています。
- ◆地域防災の要として活動している消防団は、社会を取り巻く状況の変化により団員数が不足しており、地域防災力の維持向上のためには、団員確保対策や活動しやすい環境を整える必要があります。
- ◆年々増加傾向にある救急需要に対応するため、更なる救急体制の強化が求められていることから、救急隊員の資質向上、医療機関との連携強化及び応急手当の普及啓発を図る必要があります。
- ◆管内の出火率（1万人当たりの火災発生件数）の低減を図るため、火災予防の取組の強化が求められます。

施策の方向

1. 消防・救急体制の向上

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
人口千人当たりの消防団員数	人	4.53	4.71	4.76	4.82	4.89
消防団協力事業所登録数	登録数	16	18	19	20	22
認定救急救命士数	人	92	110	117	124	125
応急手当実施率	%	50.5	53.4	54.8	56.3	57.7

施 策

1. 消防体制の強化
2. 救急体制の強化
3. 火災予防の充実

2. 消防・救急施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
防火水槽設置数	基	531	534	536	538	540

施 策

1. 消防・救急施設の充実

主な関連計画

◇桐生市地域防災計画（1972年度～）

3-4 防災・減災対策の推進



主担当課名	安全安心課、土木課、建築指導課	関係課名	すべての課
-------	-----------------	------	-------

基本方針

災害から市民の生命、財産を守るため、地域住民との協働によって地域防災体制を充実し、地域の防災力を向上するとともに、産、学、官、民がより連携を進め、総合的な防災・減災対策を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「防災・減災対策の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
住民の防災意識の向上 (災害に備えた家庭での対策をとっている住民の割合)	%	16.5 (2017年)	-	22.0	-	30.0	

現況と課題

- ◆大規模災害に対応できるように、災害対策全般を定める「地域防災計画」のほか、被災支援を円滑に受け入れるための「受援計画」を整備することが重要になっています。
- ◆各地域や地区単位での自主防災組織の結成とともに、自治会や自主防災組織では、高齢者・障がい者・乳幼児など、災害時に特別な配慮が必要な人の避難を支援する体制を整え、災害に備えることが重要です。
- ◆災害時は迅速かつ確実な情報伝達が重要であるため、あらゆる情報伝達手段について研究し、災害時の情報通信体制を強化する必要があります。
- ◆土砂災害危険箇所における土砂崩壊などの防止対策や河川の洪水対策に取り組む必要があります。
- ◆減災対策としては、市有建築物の耐震化を進めるとともに、市民へ耐震化の重要性を啓発し、一般住宅についても耐震診断及び耐震改修の促進を図っていく必要があります。

施策の方向

1. 地域防災力の向上

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
災害時応援協定締結数	件	55	60	64	67	70
出前講座、講演会参加者数	人	400	420	450	480	500

施 策	
1. 地域防災力の向上	重点(戦略)

2. 防災・減災体制の強化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
住宅の耐震化率	%	69.9	80.0	81.0	82.0	83.0

施 策	
1. 避難支援体制の強化	重点
2. 情報通信体制の強化	
3. 災害に強い都市づくり	

主な関連計画

- ◇桐生市地域防災計画（1972年度～）
- ◇群馬県地域住宅等整備計画（2015～2019年度）
- ◇群馬県耐震改修促進計画（2016～2020年度）

3-5 防犯・交通安全対策の推進



主担当課名	安全安心課	関係課名	土木課、学校教育課、新里市民生活課、黒保根市民生活課
-------	-------	------	----------------------------

基本方針

市民が犯罪や交通安全に巻き込まれることのない、安全・安心な地域づくりを目指し、防犯・交通安全対策を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年	
「防犯・交通安全対策の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
刑法犯認知件数	件	470	470	465	460	455	
交通事故発生件数	件/年	388	380	375	370	365	

現況と課題

- ◆本市における刑法犯認知件数は、様々な活動を進めてきたことにより年々減少傾向にあります。社会情勢の変化に即応した効果的な地域安全活動を推進するため、関係団体と連携し、犯罪抑止対策諸活動のさらなる展開が求められています。
- ◆防犯灯の維持管理に係る自治会等の負担を軽減することで、防犯灯の新規設置を促し、夜間の犯罪抑止を図る必要があります。
- ◆本市の平成28年における交通事故死者数が統計開始以降初めてゼロ件となりましたが、依然として、年間350件以上の交通事故が発生していることから、交通安全対策の充実が課題となっています。
- ◆交通安全啓発活動や運転免許証自主返納を推進するほか、交通事故多発地点などの危険箇所への道路反射鏡など、交通安全施設の整備を進めていく必要があります。

施策の方向

1. 防犯対策の強化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
防犯出前講座参加者数	人	227	235	240	245	250

施 策

1. 防犯活動の促進
2. 防犯対策の充実

2. 交通安全対策の強化

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
交通安全教室参加者数	人	79	81	82	83	84
道路反射鏡設置数	基	3,887	3,890	3,893	3,896	3,899

施 策

1. 交通安全意識の向上
2. 交通安全施設の整備

主な関連計画

- ◇桐生市安全なまちづくり推進基本計画（2015年度～）
- ◇第10次桐生市交通安全計画（2016～2020年度）

3-6 消費者保護対策の充実



主担当課名	市民生活課	関係課名	
-------	-------	------	--

基本方針

年々多様化、複雑化する消費者問題に対して、自らの判断と責任で行動することのできる自立した消費者を育成することを目指し、情報提供や啓発活動などの充実に取り組み、消費者保護対策を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「消費者保護対策の充実」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆本市の消費者問題については、国の消費者保護のための法整備が進んでいることなどから、相談件数は2004年度の3,464件をピークに2017年度では998件と減少していますが、相談内容はますます多様化・複雑化しており、特にインターネット関連のトラブルやハガキ、SMSなどによる架空請求が増加しています。
- ◆悪質、巧妙化する手口に対応するため、相談員の資質向上や消費者教育を充実させることが課題となっています。
- ◆スーパーマーケット等で計量行為が適正に行われているかを検査する「商品量目立入検査」や家庭用品の品質に関する情報が適正に消費者に提供されているかを検査する「品質表示調査」などの取組を通して、さらなる消費者保護を図る必要があります。

施策の方向

1. 消費者保護対策の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
消費者啓発講座受講者数	人/年	404	400	400	400	400

施 策

1. 消費者保護対策の充実

主な関連計画

4-1 学校教育の充実



主担当課名	教育総務課、学校給食中央共同調理場、学校教育課	関係課名	建築住宅課、子育て支援課、黒保根公民館
-------	-------------------------	------	---------------------

基本方針

桐生を好きな心豊かな子どもを育成するため、桐生ならではの特色ある教育をはじめとする学校教育の充実を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「学校教育の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
「特色ある教育活動」の保護者評価において（4段階中A又はBを選択）	%	80	80	80	85	85	

現況と課題

- ◆幼児教育においては、小学校以降における教科等の理解につながるよう、幼児と児童生徒の交流だけでなく教師の相互参観等を含めた交流活動の一層の充実を図る必要があります。
- ◆義務教育においては、特別支援教育の必要な児童・生徒にも配慮しながら、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を發揮し、他者と協働しながら、よりよい社会の創り手になるために必要な力を育てていくことが求められています。
- ◆商業高等学校教育においては、豊かな人間性を育み、自ら学び、商業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育成することが課題となっています。
- ◆教育施設については、幼児・児童・生徒数の減少を踏まえ、持続可能な教育施設の適正配置を進めながら、適切な施設改修を進めるとともに、時代の変化に即した教育環境を整備する必要があります。
- ◆学校給食においては、望ましい食習慣の形成、食に関する理解を深めるため、学校給食を「生きた教材」として活用し、学校栄養教諭などによる食に関する指導が極めて重要となります。

施策の方向

1. 教育内容の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
生徒の授業に対する満足度	%	66.4	67.0	68.0	69.0	70.0
生徒の進路実現に対する満足度	%	73.8	74.0	75.0	76.0	77.0

施 策	
1. 桐生ならではの特色ある教育の充実	重点(戦略)
2. 成長過程に応じた学習内容の充実	
3. 専門教育の充実	
4. 特別支援教育の充実	

2. 教育環境の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
ICTを活用した授業実施	%	85	86	87	88	89

施 策	
1. 施設・設備の充実	
2. 教育の機会均等	
3. 学校適正配置の推進	

3. 学校給食の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
地場産物使用割合（市内産）	%	8.3	12.0	15.0	18.0	20.0

施 策	
1. 学校給食の充実	
2. 食育指導の推進	
3. 効率的な運営の推進	

主な関連計画

- ◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）
- ◇桐生市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024年度）
- ◇桐生市市立小学校の小規模校化に係る適正規模・適正配置についての方針
- ◇桐生市学校施設等跡利用検討方針（2008年11月～）

4-2 青少年健全育成の推進

主担当課名	青少年課	関係課名	黒保根公民館
-------	------	------	--------

基本方針

青少年の自立と社会参加を促進するため、学校・家庭・地域の連携を一層深め、環境浄化・非行防止活動を市民総ぐるみの運動として、青少年教育活動を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「青少年健全育成の推進」の市民実感度	%		-	↑	-	↑
街頭補導出席者数	人/年	2,514	2,547	2,600	2,650	2,700

現況と課題

- ◆桐生市青少年問題協議会において、青少年に関わる諸問題に対する施策の審議や適切な実施を検討するため、関係機関・団体の連携を図るとともに、市民への青少年健全育成啓発をさらに推進する必要があります。
- ◆インターネットが発達・普及した現代社会においては、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service, SNS）上でのいじめやトラブルが新たな問題となっており、こうした問題から青少年を保護する必要があります。
- ◆青少年の相談内容の多様化に対応できるように、様々な研修を通して相談員の資質の向上を行い、機能の充実を図る必要があります。
- ◆青少年野外活動センターでは、教育的機能を有する公の施設としてキャンプ活動やその他の野外活動を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的として施設運営の充実を図っていく必要があります。

施策の方向

1. 青少年教育の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
ネット見守り活動委員会会員数	人/年	275	275	285	295	305

施 策

1. 青少年保護活動の充実 **重点(戦略)**
2. 市民総ぐるみ「青少年健全育成運動」の推進
3. 相談機能の充実

2. 青少年教育施設の運営

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
青少年野外活動センター利用者数	人/年	13,628	13,700	13,700	13,700	13,700

施 策

1. 青少年野外活動センターの充実

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

4-3 教育研究の推進



主担当課名	教育総務課、学校教育課	関係課名	生涯学習課、青少年課、建築住宅課、文化財保護課、子育て支援課、観光交流課
-------	-------------	------	--------------------------------------

基本方針

「桐生を好きな子供」の育成に向けた本市の教育のさらなる質の向上を図るため、幅広い世代の教育・学習・相談の拠点や教育関係職員の研修場所となる「総合教育センター」を設置するなど、学力向上や生徒指導等における教育課題の解決につながる調査研究を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「教育研究の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
教職員を対象とした各種研修講座受講者数	人/年	10講座 533人	10講座 550人	10講座 550人	10講座 550人	10講座 550人	

現況と課題

- ◆幅広い分野での教育・学習・相談等の拠点づくりを推進するため、中核的な役割を担う教育研究所をはじめとする教育関連施設の機能を集約する必要があります。
- ◆学力向上や生徒指導等における多種多様な課題に対応するためには教育研究が必要不可欠であり、より多くの教職員の資質を高めることが求められています。また、桐生市の良さをより多くの教職員に理解してもらう必要があります。
- ◆教育資料室では、教育関係資料のほか郷土関係資料を多数収蔵し、広く市民に公開していますが、より有効に教育へ活かすために、教育資料の公開・活用をさらに充実させることが望まれています。
- ◆適応指導教室においては、人間関係づくりを基盤にし、一人ひとりに応じた支援計画を取り入れることによって不安や悩みを軽減させ、学校や関係機関と連携しながら学校復帰を目指していく必要があります。

施策の方向

1. 教育研究・相談機能の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
教職員を対象とした各種研修講座	講座	10	10	10	10	10

施 策	
1. 教育研究・研修の充実	重点(戦略)
2. 教育相談の充実	重点(戦略)
3. 教育資料室の充実	

2. 適応指導の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
教育相談技術初級資格取得者の割合	%	70.2	72.0	73.0	74.0	75.0

施 策	
1. 適応指導教室の充実	
2. 相談体制の充実	

主な関連計画

◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）

4-4 生涯学習の推進



主担当課名	生涯学習課、図書館	関係課名	新里公民館、黒保根公民館
-------	-----------	------	--------------

基本方針

市民が「いつでも どこでも」主体的な学習活動に取り組むことができるよう、「自分さがし 出会いさがし ふるさと夢さがし」をキャッチフレーズとして、生涯学習を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「生涯学習の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
図書館利用登録者数	人	65,639	67,000	68,000	69,000	70,000	

現況と課題

- ◆学習しやすい環境をつくり、生涯学習の一層の普及・啓発活動を推進するために、多様な学習機会と学習活動情報を提供することが課題となっています。
- ◆社会教育と学校教育、家庭教育は密接に関連していることから、地域全体で子どもの成長を支えていく必要があります。
- ◆公民館や図書館等の社会教育施設について、専門性や特色を活かした多様な世代に対応した学習機会の提供を図るための環境整備が求められています。

施策の方向

1. 生涯学習の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
出前講座の利用件数	件/年	245	250	250	250	250
放課後子供教室の設置数	箇所	2	11	17	17	17

施 策
1. 生涯学習機会の充実
2. 社会教育の充実
3. 地域連携の推進

2. 社会教育施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市内公民館の市民1人あたりの年間利用回数	回	3.3	3.7	3.8	3.9	4.0
図書館資料所蔵数（CD・DVD等含む）	点	374,391	381,000	384,000	387,000	390,000
図書館資料貸出数（CD・DVD等含む）（年）	点/年	376,936	391,000	398,000	405,000	413,000

施 策
1. 公民館の充実と学習要求への対応
2. 図書館の充実

重点

主な関連計画

- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）
- ◇桐生市子ども・子育て支援事業計画（2015～2019年度）

4-5 芸術・文化の振興



主担当課名	生涯学習課、文化財保護課	関係課名	
-------	--------------	------	--

基本方針

心豊かなまちづくりを目指し、芸術文化活動を促進するとともに、文化財の保護・活用などを行い、市民の芸術・文化の振興を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「芸術・文化の振興」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆先人の残した歴史的資産を後世に伝えていくため、文化財の活用並びに積極的な公開を進め、有効活用に向けて意識の向上を図っていく必要があります。
- ◆文化活動団体の実施する事業について、効率的な実施を促す必要があります。
- ◆芸術文化活動の拠点となる桐生市市民文化会館、桐生明治館、有鄰館等の施設の充実や適正な維持管理、効果的な運営方法の検討が求められています。

施策の方向

1. 芸術・文化活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市民文化会館入館者数	人/年	304,518	338,000	338,000	338,000	338,000
市有施設(指定文化財)の入館者数	人/年	76,112 (2017年)	79,800	81,200	82,600	84,000

施 策

1. 文化活動の支援
2. 芸術文化活動拠点施設の充実

2. 文化財の保護・活用

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
文化財の公開施設数（常時・イベント時合計）	件/年	16	20	22	24	26

施 策

1. 文化財の保護・活用

主な関連計画

◇桐生市歴史的風致維持向上計画（2017～2026年度）

4-6 スポーツの振興



主担当課名	スポーツ体育課	関係課名	新里公民館、黒保根公民館
-------	---------	------	--------------

基本方針

一人でも多くの市民にスポーツを楽しんでもらうため、いつでも、どこでも、誰でも楽しめるスポーツを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「スポーツの振興」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑
「スポーツ教室」に参加したいと思う。	%	64	70	70	70	70

現況と課題

- ◆各種スポーツの推進については、桐生市体育協会加盟の競技団体が市民大会をはじめ、スポーツ教室等を開催し競技種目の振興を図っています。
- ◆競技力向上対策では、桐生市体育協会加盟団体と連携を図り、その競技における専門的な技術指導者の確保やスポーツ医科学面での支援体制の整備が必要となります。
- ◆生涯スポーツの正しい在り方や生涯にわたってスポーツを親んでもらう施策を積極的に講じる必要があります。
- ◆スポーツ施設においては、各施設において老朽化が進んでいることから、スポーツ施設全体の整備・改修を検討する必要があります。

施策の方向

1. スポーツ活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
体育施設の利用者数（年）	人/年	433,457 (2017年)	530,000	530,000	530,000	530,000

施 策

1. スポーツイベントの開催・支援
2. 競技スポーツの推進
3. 生涯スポーツの推進
4. 団体・指導者の育成

2. スポーツ施設の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「体育館」の市民満足度	%	74	80	80	80	80

施 策

1. スポーツ施設整備の推進

重点

主な関連計画

5-1 道路交通網の整備



主担当課名	都市計画課、土木課、建築指導課、用地対策室	関係課名	新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課
-------	-----------------------	------	----------------------

基本方針

産業、観光、経済等の発展と安全かつ円滑な道路交通を確保するため、本市と首都圏をつなぐ高速道路網へのアクセス道路や都市間及び都市内の骨格を形成する幹線道路、さらに市民の生活を支える生活道路の整備に取り組みます。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「道路交通網の整備」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	

現況と課題

- ◆高速道路網を活かすため、北関東自動車道へのアクセスの向上を図ることが課題となっています。
- ◆都市間の連絡強化や災害時における交通機能を確保するとともに、市街地内の主要な路線・交差点の渋滞解消を図るため、周辺都市と連携した一体的な道路交通体系の確立が課題となっています。
- ◆橋や道路施設等を長寿命化し、安全性の確保と補修費用等を抑制した維持管理を行っていくことが課題となっています。
- ◆狭あい道路や道路の危険箇所等の解消を図るとともに、道路空間と沿道空間の一体性に配慮した良好な景観形成や街路樹の維持管理、ユニバーサルデザインの導入が求められています。

施策の方向

1. 幹線道路網の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
都市計画道路の整備率	%	47.2	47.5	47.6	47.7	47.8

施 策	
1. 北関東自動車道へのアクセス道路の整備	重点(戦略)
2. 幹線道路の整備	重点(戦略)

2. 生活道路網の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
狭あい道路整備工事か所数	か所 (年)	37	40	40	40	40
橋梁長寿命化修繕事業	橋/橋	27/68	31/68	33/68	35/68	38/68

施 策	
1. 生活道路の整備	
2. 人と環境にやさしい道づくり	
3. 道路の適正管理	

主な関連計画

- ◇ 桐生市都市計画マスタープラン（2015～2024年度）
- ◇ 橋梁長寿命化修繕計画（2012年度～）
- ◇ 群馬県地域住宅等整備計画（地域住宅計画 群馬地域（3期））（2015～2019年度）
- ◇ 桐生市景観計画（2016年度～）
- ◇ はばたけ群馬・県土整備プラン（2018～2027年度）

5-2 公共交通体系の充実



主担当課名	広域連携推進室、新里市民生活課、黒保根市民生活課、黒保根地域振興整備課	関係課名	
-------	-------------------------------------	------	--

基本方針

市民の移動手段を確保するとともに、鉄道駅周辺をはじめとする地域拠点の活性化を目指し、鉄道や路線バス等の乗合旅客のほか、有償運送や新たな移動手段による利用者の利便性の向上を図りながら、将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築を図ります。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「公共交通体系の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆ 少子高齢化に伴い、利用者の大半を占める学生の減少が見込まれる中、鉄道の安定した運行維持のためには、広域的な視点からの利用促進や駅及び周辺施設などの利便性の向上を図っていくことが重要な課題となっています。
- ◆ 路線バス及びデマンドタクシーを持続可能な公共交通として維持していくために、運行体系の更なる効率化や利便性の向上を図るとともに、自家用車への全面依存から公共交通を併用していくことについて、利用者側への理解と実現に向けた啓発が必要になります。また、バス停までの移動が不便な方に対する新たな移動手段の確保について、調査・研究を進める必要があります。

施策の方向

1. 鉄道利用の促進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市内 17 駅 1 日平均乗降者数	人/日	14,748 (2017 年)	14,800	14,800	14,800	14,800

施 策

1. 鉄道利用の促進

重点(戦略)

2. バス交通網の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
人口 1 人あたりバス交通利用回数	回/年	3.55	3.55	3.55	3.55	3.55

施 策

1. バス交通体系の構築

重点(戦略)

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019 年度）

5-3 土地利用と景観の形成



主担当課名	農業振興課、都市計画課	関係課名	新里地域振興整備課、黒保根地域振興整備課
-------	-------------	------	----------------------

基本方針

持続可能な都市を形成するため、地域特性への配慮、自然環境との調和、災害に対する安全性の確保、良好な景観形成等を考慮しながら、総合的・計画的な土地利用を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「土地利用と景観の形成」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆旧桐生地区、新里地区、黒保根地区の3地区ごとに土地利用の現状が異なっているため、それぞれの特性を踏まえた土地利用が求められています。
- ◆中心市街地の空洞化が進行していることから、都市基盤や住環境の整備と、未利用土地の有効利用を図る必要があります。
- ◆土地の実態を的確に把握し、地籍の明確化や地図（公図）の混乱が見られる地域の解消を図るため、国土調査を実施する必要があります。
- ◆恵まれた自然景観や、歴史的景観を保全するとともに、郷土に対する誇りや愛着をもった魅力ある景観づくりの必要があります。

施策の方向

1. 土地の有効利用

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
国土調査の進捗率	%	23.57	23.99	24.19	24.39	24.59

施 策

1. 適正な土地利用の推進
2. 持続可能な都市の形成

重点(戦略)

2. 景観の形成

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
桐生市景観計画に基づく取組の認知度	%	40	45	45	50	50

施 策

1. 景観保全の推進
2. 啓発活動の推進

主な関連計画

- ◇桐生市都市計画マスタープラン（2015～2024年度）
- ◇桐生市景観計画（2016年度～）
- ◇桐生市コンパクトシティ計画（2019年度～）
- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

5-4 歴史まちづくりの推進



主担当課名	都市計画課、文化財保護課	関係課名	
-------	--------------	------	--

基本方針

歴史的町並みを後世に伝え継ぐため、先人の築いた歴史的建造物とそこに息づく人々の暮らしなどの活動が作り出す歴史的風致の維持及び向上を図り、歴史的環境を活かしたまちづくりを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「歴史まちづくりの推進」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆市内に点在する歴史的資産の保存活用にあっては、歴史的風致維持向上計画に基づき、「重要伝統的建造物群保存地区」を核とした総合的・一体的なまちづくりを推進し、地域の活性化につなげていくことが課題となっています。
- ◆「重要伝統的建造物群保存地区」の町並みを継承していくため、歴史的建造物の保存・活用において、保存計画の適正な運用と合わせ、住民同士の連携や保存団体の組織など、住民と行政が一体となった取組が必要となります。

施策の方向

1. 歴史まちづくり活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
町並み委員会の参加者数	人/年	109	120	130	140	150

施 策

1. 歴史的風致を活用したまちづくりの推進

重点(戦略)

2. 歴史まちづくりの整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
歴史的風致形成建造物の指定件数	件	3	6	9	12	15

施 策

1. 地域特性に応じた町並み整備

重点(戦略)

主な関連計画

◇桐生市歴史的風致維持向上計画（2017～2026 年度）

5-5 住宅対策の推進



主担当課名	建築住宅課、空き家対策室、黒保根市民生活課、黒保根地域振興整備課	関係課名	新里地域振興整備課
-------	----------------------------------	------	-----------

基本方針

人口の流出を抑制し、市民の住宅ニーズに合った住まいの供給を確保しつつ若い世代の定住化を促進するため、住宅対策を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年	
「住宅対策の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
空き家の解消件数	件	100	100	100	100	100	

現況と課題

- ◆住環境の整備にあたっては、若い世代の定住化、高齢者、障害者や子育て世代等への支援、環境への配慮などに留意しながら進めていく必要があります。
- ◆空き家の増加は街全体の活気を失わせるだけでなく、治安・防犯面からも問題となるため、利活用や除却も含めた適切な対応を進める必要があります。
- ◆移住・定住の促進を図るため、桐生地域の特徴に応じた桐生暮らしの魅力の発信とともに、多様化する移住希望者のニーズを受け止め、地域に橋渡しできる支援体制づくりが課題となっています。

施策の方向

1. 住環境の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
跡地の有効活用（分譲、定期借地など）のための用途廃止	か所	0	0	2	1	1
高層の市営住宅耐震改修	団地	0	0	1	0	1
特に著しい損傷の空き家数の減少	件	10	10	10	10	10

施 策	
1.市営住宅の整備	重点
2. 空き家・空き地対策の推進	

2. 移住・定住の促進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
移住・定住相談件数	件	342	240	240	240	240
空き家・空き地バンク成約件数	件	44	30	30	30	30

施 策	
1. 移住・定住促進策の推進	重点(戦略)

主な関連計画

- ◇桐生市空き家等対策計画（2018～2022年度）
- ◇桐生市住宅マスタープラン（2011～2020年度）
- ◇桐生市公営住宅等長寿命化計画（2010～2019年度）
- ◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）
- ◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

5-6 水道水の安定供給



主担当課名	水道総務課、工務課、浄水課	関係課名	
-------	---------------	------	--

基本方針

安心・安全な水質の水道水を安定供給するため、水道事業経営の更なる健全化・効率化を図りながら、水道施設の戦略的な維持管理・更新等を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「水道水の安定供給」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑
水道普及率	%	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9

現況と課題

- ◆全国的に水に対する安全性への関心が高まりを見せており、より信頼性の高い水質検査が求められています。
- ◆人口減少に伴い水需要の減少が見込まれる中、施設更新の際には、施設規模の適正化を図る必要があります。
- ◆老朽化した諸施設の適正管理を行うとともに、災害時等の応急給水・応急復旧体制を確立する必要があります。
- ◆将来にわたって水道事業を安定的に運営するため、経営の効率化や財政の健全化など経営基盤強化に向けて取り組む必要があります。

施策の方向

1. 適切な水質管理

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
水質基準項目の自己検査割合	% (年)	100	100	100	100	100

施 策

1. 適切な水質管理

2. 上水道施設の整備

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
有効率	% (年)	84.3	87.6	88.1	88.6	89.1

施 策

1. 上水道施設の整備 重点
2. 災害・事故対策の強化

3. 企業経営の健全運営

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
経常収支比率	% (年)	118.5 (2017年)	104.8	99.6	92.9	89.8

施 策

1. 企業経営の健全運営 重点

主な関連計画

- ◇桐生市水道再生マスタープラン（2006～2025年度）
- ◇桐生市水道事業経営戦略（2018～2027年度）

5-7 汚水・雨水の適正処理



主担当課名	清掃センター、下水道課、境野水処理センター、新里地域振興整備課	関係課名	都市計画課、新里市民生活課、黒保根市民生活課
-------	---------------------------------	------	------------------------

基本方針

生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、適切な汚水・雨水処理と健全な下水道事業を運営します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年	
「汚水・雨水の適正処理」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
汚水処理人口普及率	%	97.0	97.6	97.7	97.8	97.9	

現況と課題

- ◆公共下水道未整備地区の整備については、将来的な人口減少や投資効果を検証し、公共下水道と合併処理浄化槽との汚水処理のベストミックスの検討や、事業計画区域の見直し等が必要です。
- ◆汚水処理施設については、老朽化が進んでおり、早急にストックマネジメント計画を策定し、適正で効率的な施設管理を行う必要があります。
- ◆雨水対策については、河川管理者等とのより一層の連携を図りながら、浸水地域の解消に努める必要があります。
- ◆公共下水道事業の健全運営のため、事業の優先順位を定めるなど、事業費の平準化を図る必要があります。

施策の方向

1. 汚水・雨水処理の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
河川放流水の平均水質(BOD)	mg/ℓ	15	15	15	15	15
老朽化対策の進捗率	%	15	30	45	60	100

施 策

1. 環境衛生の充実
2. 処理施設の整備

重点

2. 下水道事業の健全運営

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
経常収支比率	%	68.0 (2017年)	93.0	92.6	93.3	94.3

施 策

1. 下水道事業の健全運営

主な関連計画

- ◇コンパクトシティ計画（2019～2040年度）
- ◇第二次循環型社会形成推進地域計画（2018～2022年度）

5-8 水と緑の保全



主担当課名	林業振興課、環境課、土木課、公園緑地課、黒保根地域振興整備課、水道総務課	関係課名	新里地域振興整備課
-------	--------------------------------------	------	-----------

基本方針

森林、清らかで豊富な水、清々しい空気を背景とした水源都市の実現を目指し、森林の整備をはじめ、水源のかん養の適切な管理や、河川・水路の整備等、住民参加による自然環境保全に取り組みます。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「水と緑の保全」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
森林割合（総面積のうち）	%	73	73	73	73	73	

現況と課題

- ◆本市は、水源都市として下流地域へきれいな水を流す責務があり、水源のかん養である森林保全やカッコソウをはじめとする稀少植物の保全を含めた自然環境保全の取組が求められており、自然保護意識の普及啓発、企業や団体をはじめとした森林水源ボランティアの育成が重要になっています。
- ◆市内には一級河川や市管理の水路が多く流れており、それらの砂防堰堤・堤防・水路の整備については、大災害に備えて市民の理解と地権者の協力を得ながら、国や県に積極的に事業促進を働きかけ、計画的に進めていくことが求められています。

施策の方向

1. 水源・河川等の保全

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
河川・水路整備か所数	か所/年	23	40	40	40	40

施 策

1. 水源の保全
2. 河川・水路の整備

2. 森林の保全

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
観察会参加者数（年）	人/年	1,600	1,500	1,500	1,500	1,500
森林ボランティアによる協定面積	ha	33.6	36.1	38.6	41.2	43.7

施 策

1. 自然保護意識の普及・啓発活動の推進
2. 森林ボランティアによる森林保全整備の促進
3. 森林の公益的機能の保全

主な関連計画

5-9 公園・緑地の整備



主担当課名	公園緑地課	関係課名	
-------	-------	------	--

基本方針

緑豊かなまちを形成するため、地域住民との協力・連携等により、安全で快適な公園利用の充実を図るとともに、都市公園などの緑化を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「公園・緑地の整備」の市民実感度	%	(2019年)	-	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆都市公園の管理については、市民の相互交流をより一層促進する場となるよう、ボランティアの協力を得ながら市民に愛される公園づくりや老朽化した公園施設の整備・改修を進める必要があります。
- ◆良好な市街地空間の創出のため、公共空間のみならず民間施設や民有地の緑化についての取り組みも求められています。

施策の方向

1. 公園の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市民一人当たりの都市公園敷地面積	m ² /人	8.48	8.78	8.95	9.13	9.34

施 策

1. 公園の充実
2. 協働による公園管理

2. 緑化の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
緑化推進大会の動員数	人	150	150	150	150	150

施 策

1. 緑化の推進

主な関連計画

◇桐生市都市計画マスタープラン（2015～2025 年度）

6-1 市民協働の推進



主担当課名	企画課、市民生活課	関係課名	新里市民生活課、黒保根市民生活課、下水道課、境野水処理センター
-------	-----------	------	---------------------------------

基本方針

市民が主役のまちづくりを進めるため、産学官民の連携の下、市民の意向の把握や市民活動の活性化を図るとともに、市民と行政それぞれの役割を踏まえた協働の実現を目指します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「市民協働の推進」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑
市民活動推進センター「ゆい」の支援活動等事業数	事業	90	110	120	130	140	

現況と課題

- ◆市民の意向を反映させた市政の推進のため、市民の積極的な市政への参画を進める必要があります。
- ◆市民活動をまちづくりに繋げるため、市民活動団体の自主・自立・自発の機運を醸成させることが課題となっています。
- ◆少子高齢化・人口減少などに伴い、自治組織では担い手や後継者確保に課題を抱えており、地域コミュニティの安定的な運営体制の構築が課題となっています。

施策の方向

1. 市民参画の充実

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「笑顔のふれあいトーク」の満足度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

施 策

1. 市民参画の充実

2. 地域づくりの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市民活動推進センター利用者数	人/年	33,000	33,000	33,000	33,000	33,000
ゆいねっと情報発信数	回/年	110	121	133	146	160

施 策

1. 市民活動の促進
2. 自治組織との連携強化

主な関連計画

6-2 広報・広聴の充実



主担当課名	広報課、市民生活課	関係課名	
-------	-----------	------	--

基本方針

市民の声を市政に反映するため、様々な手法で市民の意向を把握するとともに、市政情報を適切な時期に適切な内容で市内外に積極的に発信します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「広報・広聴の充実」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆市民の意向を反映した市政を推進するため、広聴については現行の手法のほか新たな市民の声を市政へ反映する手段や方法について検討する必要があります。
- ◆広報活動については、市民と行政との協働の推進、情報の共有化という観点からも重要です。
- ◆市民にとって有益でわかりやすい広報紙のあり方について研究するとともに、インターネットをはじめとした新しい媒体により、市民の求める情報や市の魅力を的確かつタイムリーに市の内外に発信して行く必要があります。

施策の方向

1. 広報広聴活動の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
広報きりゅうを読む市民の割合	% (年)	70.1	71.0	72.0	73.0	74.0
ホームページのアクセス数	件/年	5,342,272	5,300,000	5,400,000	5,500,000	5,600,000
報道発表資料に係る報道各社の延べ掲載件数	件/年	1,238 (2017年)	1,350	1,400	1,450	1,500

施 策

1. 広報活動の推進
2. 広聴活動の推進
3. 市民相談の充実

主な関連計画

6-3 男女共同参画の推進



主担当課名	市民生活課	関係課名	全ての課
-------	-------	------	------

基本方針

男女共同参画社会の実現のため、男女が社会の対等な構成員として互いを尊重し、共に責任を分かち合いながら、あらゆる分野でいきいきと活躍していける環境づくりを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「男女共同参画の推進」の市民実感度	%	(2019年)		-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆徐々に法律や制度の整備が進む一方で、固定的な性別役割分担意識やそれに基づく慣習・慣行などが、家庭・職場・地域などさまざまな場面における男女共同参画の実現を妨げる大きな障壁となっています。
- ◆男女平等や男女共同参画を実現していくためには、一人ひとりが固定的な性別役割分担意識を解消し、ともに「男女問わず誰もが能力を発揮できる環境づくり」に取り組んでいくことが重要です。

施策の方向

1. 男女共同参画の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
各審議会等の女性委員登用率	%	22.7	30.0			35.0

施 策

1. 男女共同参画社会の実現に向けた基盤づくり
2. あらゆる分野における男女共同参画推進
3. 男女がともに安全安心に暮らせるまちづくり

主な関連計画

◇桐生市男女共同参画計画（2016～2020年度）

6-4 国際交流の推進



主担当課名	総務課、黒保根公民館、学校教育課	関係課名	人事課、産業政策課、安全安心課
-------	------------------	------	-----------------

基本方針

異なる国籍の市民同士が同じ地域の中で交流し安心して暮らしていくため、多言語に対応した施設環境を整備するとともに、国際交流を促進し、多文化共生を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
「国際交流の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆本市の外国人住民は、平成31年2月末現在で1,884人であり、群馬大学理工学部で学ぶ各国からの留学生も多く、日常生活において市民が外国人と関わる機会も多くなっており、市内小中学校においても帰国児童や外国人児童等が増加しています。
- ◆各学校において、国際理解を深めるための教育を充実するとともに、学校生活への適応や日本語の習得への適切な指導が必要となっています。
- ◆国際姉妹都市であるコロンバス市（アメリカ）やピエラ市（イタリア）と教育や文化、経済などの交流を深めたり、桐生市国際交流協会や県と連携する中で、市民の国際感覚の醸成や、多文化共生の推進を図る必要があります。
- ◆自然災害が頻発する近年、災害関連情報や避難所における掲示物の多言語化など、外国人住民への配慮が必要となっています。

施策の方向

1. 多文化共生の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
国際姉妹都市交流等交流事業参加者数	人	231	235	240	245	250
在住外国人支援事業利用件数	件	256	260	260	260	260

施 策

1. 国際教育の充実
2. 外国人住民に対する支援・交流の推進

主な関連計画

◇桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019年度）

6-5 シティブランディングの推進



主担当課名	広報課	関係課名	すべての課
-------	-----	------	-------

基本方針

桐生が市民にとってより一層暮らしやすいまちになること、また、首都圏をはじめ市外の人から選ばれるまちになることを目指し、市民、団体、事業者が、桐生の「らしさ」や「持ち味」を活用して、まちの価値を大きくする取り組みを推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「シティブランディングの推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
市民の幸福度（全体の平均値）	点	6.11	-	6.50	-	7.00	
人口総数に対する転出者の割合	%/年	2.99 (2017年)	2.90	2.80	2.70	2.60	

現況と課題

- ◆本市では、“産業と自然、教育と文化に育まれたファッションタウン桐生の創造”をコンセプトとするファッションタウン構想※が本市の目指すべきまちづくりの方向性と共通していることから、市民や関係機関との連携を図りながら支援しております。
- ◆地域の魅力を再発見・磨き上げようとする取り組みが複数の団体により市内各所で展開されており、市民主体の地域活性化の動きが活発化してきています。
- ◆こうしたまちの価値を大きくする取り組みを推進するに当たっては、市民、団体事業者の皆さんが地域に関心を持ち、まちの価値、魅力に気づくことがとても重要です。
- ◆まちの価値を大きくする取り組みや地域を見つめ直すことは、居留意欲の向上のためにも重要です。
- ◆取り組みの推進にあたっては、都市経営や民間主導による公民連携などの新たな視点を積極的に取り入れながら、活動環境を整えることが重要です。

施策の方向

1. シティブランディングの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年 (2019年)	2020年	2021年	2022年	2023年
桐生の魅力を語る市民の割合	%	(2019年)	－	50.0	－	60.0
インスタグラムで#(ハッシュタグ)桐撮りを使った投稿数	件/年	1,841	2,000	2,200	2,500	3,000
桐生市公式ツイッターの投稿のリツイート数	件/年	1,815	2,000	2,200	2,500	3,000

施 策	
1. 理念・方針等の周知啓発	重点
2. 推進体制の活動支援	重点

主な関連計画

◇桐生市シティブランディング戦略（－）

※ファッションタウン構想：地域が地域にある産業の発展を図りつつ、その地域の歴史・文化、観光資源等との融合及び消費地との直結による新しい経済活動創出を図り、新しいファッション情報発信基地・生活文化都市としての総合的なまちづくりにより産業と地域の活性化を図ろうとするもので、構想を具現化する組織として、平成9年5月にファッションタウン桐生推進協議会が桐生商工会議所内に発足。

6-6 効率的で健全な行財政運営



主担当課名	企画課、財政課、総務課、人事課、情報管理課、税務課、納税課、黒保根市民生活課	関係課名	契約検査課、建築住宅課、監査委員事務局
-------	--	------	---------------------

基本方針

限られた資源を有効に活用し、持続可能都市に向けた行政経営を推進するため、行政自らが変化し、あらゆる課題に柔軟に対応できるように組織形態や運営方法を見直します。

目標指標	単 位	基準値	目標値				
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	
「効率的で健全な行財政運営」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑	
経常収支比率	%	95.0 (2017年)	95.0	95.0	95.0	95.0	
行政改革方針実施計画の進捗度	%	0	5	10	20	30	

現況と課題

- ◆様々な視点から事務事業を見直すとともに、新たな行政ニーズに対し、民間活力の活用を図りながら、より効率的・効果的に対応できる行政経営を推進する必要があります。
- ◆サービス水準の維持・向上及び費用対効果を十分に検討し、民間活力の活用を図るとともに、市民団体等との連携を深め、自治組織、NPO及び民間との協議の更なる推進を図る必要があります。
- ◆自主性・自立性の高い行政経営を行うため、それを支えていく職員の意識改革、人材育成を推進する必要があります。
- ◆情報資産(ハードウェア・ソフトウェア・データ)を最新の情報通信技術を適切に取り入れて、効率的に業務を行う必要があります。
- ◆課税客体を正確に把握し公正な賦課を行い、市税等の収納率の向上を図るとともに、遊休資産の利活用や委託料、補助金の見直し等を行い、事務・事業コスト削減に努める必要があります。

施策の方向

1. 効率的な行政運営の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
定員管理の適正化	人	1,090	1,073	1,028	1,004	994
行政システムのネットワーク化及びサーバー等の冗長化	%	29	29	30	30	31

施 策

- | | |
|------------|----|
| 1. 行政経営の推進 | 重点 |
| 2. 情報化の推進 | |

2. 安定した財政運営の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市税の収納率	% (年)	92.87	95.74	95.74	95.74	95.74
実質公債費比率	% (年)	5.1 (2017年)	5.1	5.1	5.1	5.1
将来負担比率	% (年)	9.0 (2017年)	8.5	8.0	7.5	7.0

施 策

- | | |
|-------------------|----|
| 1. 安定した財政基盤の形成 | 重点 |
| 2. 民間企業の経営管理手法の導入 | |

3. 公共施設マネジメントの推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数	計画	0	23	23	23	23
閉校後の跡利用方針未決定施設数	施設	2	0	0	0	0

施 策

- | | |
|------------------|--------|
| 1. 公共施設マネジメントの運営 | 重点(戦略) |
| 2. 用途廃止後の施設の有効活用 | 重点(戦略) |

主な関連計画

- ◇桐生市人材育成基本方針（2014年度～）
- ◇桐生市行政改革方針（2019年度～）
- ◇桐生市公共施設等総合管理計画（2017年度～）

6-7 地域連携の推進



主担当課名	広域連携推進室、総務課、秘書室	関係課名	市民課
-------	-----------------	------	-----

基本方針

社会資本整備の充実や車社会の進展に伴う市民の日常生活圏の拡大に対応するとともに、市民生活の利便性向上、行政運営の効率化につなげるため、地域連携を推進します。

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
「地域連携の推進」の市民実感度	%	(2019年)	-	↑	-	↑

現況と課題

- ◆本市は、両毛広域都市圏総合整備推進協議会を構成する2県11市町との緊密な連携を図り、効率的で機能的な広域連携を推進するとともに、国内親善都市との都市間交流を行い、豊かなまちづくりを推進しています。
- ◆市民の広域的な需要に適切に対応するため、隣接する複数の自治体が協力・協調してサービスの均質化・効率化・一体化や情報の共有化に努めるなど、広域的な視野に立った行政による市民生活の利便性の向上が求められています。
- ◆市民サービスの維持向上や行政機能の効率化等が求められる中、広域的な都市間連携が必要となっています。

施策の方向

1. 地域連携の推進

目標指標	単 位	基準値	目標値			
		2018年	2020年	2021年	2022年	2023年
市民サービスの向上等に資する広域連携事業数	事業	66 (2017年)	68	70	72	74

施 策

1. 地域連携の推進

重点(戦略)

主な関連計画